

<実践報告>

長野市の児童館における遊びと児童館活動の拡大

関川光彦 長野市社会福祉協議会
土井 進 信州大学教育学部附属教育実践総合センター

Children's Play in Children's Halls in Nagano City and Expansion of Children's Hall Activities

SEKIGAWA Mituhiko : Nagano City Social Welfare Conference Society
DOI Susumu : Faculty of Education, Shinshu University

In this article, I have analyzed the types of children's play observed in 35 children's halls in Nagano city from 1995 to 1999. I have also argued the increasing demand for the children's hall has made the role of the children's hall more important.

【キーワード】 児童館 遊び 体験不足 福祉増進機能 健全育成機能

1. はじめに

児童福祉施設の1つである児童館の基本機能は、遊びを通じた児童の育成援助である。本稿では、児童館における遊びの実態を明らかにするために、長野市から委託を受けた長野市社会福祉協議会が管理運営等に当たっている学童型児童館 35 館を、平成 7 年度～平成 11 年度の 5 年間に利用した児童約 206 万人（登録児童と一般児童の総延べ利用者数）について、児童館での遊びの種類を分析し考察した。なお、幼児型児童館は長野市に 2 館あるが、本稿では学童型だけについて調査することにした。

次に、女性勤労者の増加とともに放課後の児童の居場所となる施設の必要性や少子化にともなう子どもの社会性の欠如を補う施設の必要性を背景として、児童館に対する需要が年々高まってきている。それにともない児童館が果たすべき機能も拡大してきていることについて述べた。

2. 長野市の学童型児童館 35 館における児童の遊び

2.1 長野市の学童型児童館の年間利用数

長野市社会福祉協議会では毎月各児童館から「児童館利用状況報告」を受けている。そのうち学童型児童館 35 館について、平成 7 年 4 月より平成 12 年 3 月までの 60 ヶ月にわたる報告と各児童館を訪問した聞き取り調査に基づき、次の年間利用数が明らか

かになった。これを見ると登録児童数は年々増加の一途をたどっており、これにともない登録児童の延べ利用数も急激に増加していることが分かる。

	登録児童数	登録児童の利用数	一般児童の利用数	登録児童の延べ利用数	一般児童の延べ利用数
平成 7 年度	17,291 人	13,028 人	3,603 人	278,199 人	76,659 人
平成 8 年度	18,237 人	13,906 人	3,329 人	306,675 人	67,451 人
平成 9 年度	20,228 人	15,196 人	3,042 人	335,898 人	66,493 人
平成 10 年度	22,592 人	17,809 人	2,960 人	379,626 人	63,911 人
平成 11 年度	24,910 人	18,772 人	3,088 人	417,828 人	68,046 人

2.2 長野市の学童型児童館で行われている遊び

次の表は長野市の児童館 35 館全体にわたる調査で明らかになった児童が好んで行な

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
7 年度	1 位	トランポ	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車
	2 位	一輪車	トランポ	トランポ	トランポ	折り紙	折り紙	サッカー	トランポ	折り紙	トランポ	折り紙	トランポ
	3 位	折り紙	折り紙プロック	折り紙	折り紙バスケット	トランポ	ブロック	バスケット	折り紙	トランポ	トランポ	バスケット	バスケット
	他	72 種類	71 種類	67 種類	72 種類	87 種類	73 種類	84 種類	81 種類	74 種類	72 種類	87 種類	69 種類
8 年度	1 位	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車
	2 位	トランポ	トランポ	トランポ	折り紙	折り紙	折り紙	折り紙	折り紙	折り紙	こま回し	バスケット	折り紙
	3 位	ブロック	折り紙	砂遊び	トランポ	トランポ	ドッチ	砂遊び	トランポ	ドッチバスケット	トランポ	ブロック	トランポ
	他	80 種類	75 種類	87 種類	77 種類	82 種類	77 種類	82 種類	74 種類	74 種類	66 種類	73 種類	69 種類
9 年度	1 位	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	縄跳び	一輪車	一輪車
	2 位	折り紙	折り紙	折り紙	折り紙	トランポ	砂遊び	折り紙	折り紙	トランポ	折り紙	一輪車	折り紙
	3 位	トランポ	トランポ	砂遊び	トランポ	折り紙	折り紙	縄跳び	ドッチ	折り紙	トランポ	折り紙	縄跳び
	他	87 種類	87 種類	85 種類	87 種類	87 種類	87 種類	87 種類	87 種類	87 種類	84 種類	73 種類	85 種類
10 年度	1 位	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	折り紙	折り紙	縄跳び	縄跳び	一輪車	一輪車
	2 位	折り紙	トランポ	トランポ	ドッチ	トランポ	折り紙	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	ブロック	縄跳び
	3 位	トランポ	折り紙	砂遊び	折り紙	折り紙	トランポ	ブロック	縄跳び	ブロック	トランポ	トランポ	ブロック
	他	85 種類	82 種類	73 種類	87 種類	86 種類	87 種類	87 種類	87 種類	87 種類	87 種類	75 種類	71 種類
11 年度	1 位	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	一輪車	こま回し	一輪車	一輪車
	2 位	ブロック	トランポ	砂遊び	折り紙	ブロック	ブロック	ブロック	ブロック	折り紙	一輪車	こま回し	折り紙
	3 位	トランポ	砂遊びプロック	トランポ	ブロック	ブロック	ドッチ	ドッチ	縄跳び	縄跳び	縄跳び	折り紙	縄跳び
	他	68 種類	75 種類	69 種類	64 種類	68 種類	71 種類	74 種類	74 種類	75 種類	74 種類	68 種類	73 種類

っている遊びの種類を上位 3 位まで示したものである。(トランプはトランポリン, ドッチはドッチボールのことである。) 上位 3 位に入った遊びは, 一輪車, トランポリン, ブロック, 折り紙, 砂遊び, こま, 縄跳び, サッカー, ドッチボールの 9 種類であった。また, 35 館で行われている遊びの種類は 90 種類以下であり, 5 年間の月平均の遊びの種類は 80 であることが明らかになった。なお, 例として平成 11 年 12 月に行われた 74 種類の遊びを全て掲げると次のようであった。(アイウエオ順)

アスレチック, 編み物, あや取り, 一輪車, 写し絵, 演劇, 絵描き, 折り紙, 鬼ごっこ, オセロ, お化け遊び, 枯れ花あそび, 隠れんぼ, 紙工作, カード遊び, 飾り付け, 切り絵, キックベース, キャタピラ遊び, 基地づくり, クリスマスケーキ, クリスマス遊び, 剣玉ゲーム, 工作, こま回し, ごっこ遊び, ごろんあそび, サッカー, シーソー集団遊び, 将棋, 手芸, 室内遊具遊び, 宿題, ステンドグラス, 双六, 砂遊び, 外遊具遊び, ソフト遊び, 卓球, 竹馬, ダンボール遊び, 積み木, ドッチボール, トランポリン, 読書, トランプ, 跳び箱, 縄飛び, 塗り絵, バレーボール, バドミントン, バランス, 花札, パズル, ハンドベース, ハンドボール, ビデオ遊び, ブロック遊び, フラフープ, ブランコ, ブローチづくり, ボール遊び, ホッピング, ポシエット遊び, ままごと, マット遊び, マラソン, マルチパネル, ミニバスケット, 野球, 雪遊び, リサイクル工作, リースづくり, ローラースケート。

これらの遊びは, 児童館に準備されている遊具の有り様に大きく影響されている。遊びへの創意工夫というものはなかなか難しい。長野市の児童館に用意されている主な遊具は, 一輪車, 縄飛びの縄, 各種のボール, ブランコ, 滑り台, 各種のブロック, ダンボール, 将棋, 竹馬, 竹トンボ, 網, ホッピング, 木馬, 卓球台, 砂場, トランプ, かるた, ドミノ, ビーズ, 写し絵, 絵の具類, テレビ, おはじきなどである。

2.3 長野市の学童型児童館で行われている遊びの分類

5 年間に観察することができた児童館での遊びの分類の一例は次の通りである。

- (1) 鬼遊び、ごっこ遊び系統：だるまさんが転んだ, 鬼ごっこ, 隠れんぼ, 下駄隠し, ぞうり取り, 引きだし鬼, ひょうたん鬼ごっこ, 十字架, 木の中のりす
- (2) 合戦遊び系統：陣取り合戦遊び, 渦巻きエス字, 宝探し, ひまわり, 宝取り, 足落し, どうちうたん, 宝踏み
- (3) 石遊び系統：石蹴り, あかいじめ, 温泉取り, 石かっちゃん, ケンケ, 石投げ, 当てごっこ
- (4) 陣取り遊び系統：陣取り, 基地遊び, でんでん虫, 猫ドン, 地雷遊び, おはじき取り, 指陣取り
- (5) わらべ歌遊び、運動遊び系統：せっせっせ, ひらいたひらいた, かごめかごめ, ぼうさんぼうさん, 草履隠し, はないちもんめ, おしくらまんじゅう, 小豆マン煮えマン, ボール遊び, 駆けっこ, ロープ遊び, ぶら下がり
- (6) 用具を使うものの系統：お手玉, おさらい, おおなみこなみ, 縄飛びジャンケン,

おはじき、たけべらあそびパッチ、釘さし、こま回し、びー玉遊び、棒ベース、一輪車、跳び箱、竹馬、木馬、砂場、カード、ホッピング、砂場、将棋

(7) 自然との遊び系統：魚取り、木登り、雪滑り、探検、雪滑り、土手すべり、川遊び
はっぱ集め

(8) 工作遊び系統：草笛、草船、竹トンボ、ポットの活用、廃物利用、笛づくり、凧作り、ロケット、ステンドグラス、人形づくり、豆鉄砲、水車、風車、竹馬、ささ舟
このように様々な遊びの種類があるが児童はこれらの遊びを通して、立場や役割を交代する体験、時間の有限性を知る体験、悲運の体験、奉仕体験、身体表現や自己表現の体験、そして体力増進等の体験をしているのであり、ここに遊びのもつ人間形成的意義がある。

3. 長野市の児童館で行われている遊びから見た児童の傾向

3.1 社会環境の変化による子どもの遊びの変化

- (1) 運動遊びの機会が減少し生活体験の不足が目立ってきている。
- (2) 大勢で群れかつ身体を接触して遊ぶことが少なく、TVまたは情報機器に頼る傾向が見られる。
- (3) 地域内で子どもが自発的に自由に楽しむことを目的としながら、自分たちで遊びを面白くするためにあるルールをつくって遊ぶのではなく、既成の与えられたものの枠の中にいる。遊びが矮小化している傾向が見られる。
- (4) 遊びは基本的には戸外で身体を積極的に動かし、仲間と群れ、お金をかけないことであるが、家の中で一人で高価な機器で黙って遊ぶ傾向が見られる。
- (5) 塾通いや競争の激化により、子どもに子どもらしくない傾向が見られる。

3.2 家庭での躰の不足

おやつ時間は児童館職員の積極的な活動が必要になる場面である。おやつの時のあいさつ「いただきます」「ごちそうさまでした」をきちんと言うこと、全員が揃うまで待っていること、順番を待つこと、おやつをいただく姿勢などについて、家庭での躰が不足している児童が見られる。例えば家庭での躰が身につけていない場合でも、集団活動の中で丁寧に指導していくことによって成果をあげることができる。

遊具の後片付けが身につくには根気の良い指導が必要である。自分が使ったものであっても使わないものであっても、後片付けをさせることが効果的である。このような躰は、全職員が「ただいま」「おかえりなさい」の応答を児童との間で必ず取りかわすように根気よく努めていくと効果が上がる。

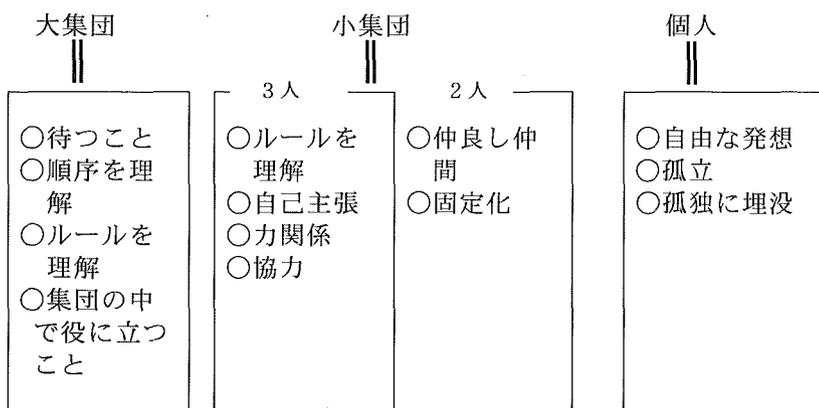
3.3 遊びに表れる児童の欲求

児童館は子どもにとっては学校の延長ではない別な世界である。児童館に遊びにきている子どもの姿には、包み隠さず自分自身を全方位で表現していることが伺われる。これは児童が評価されない安心な環境の中にいるからであろう。順序づけられない自由な

環境というのは、児童に生き生きした姿を呼び覚ますようなところが見られる。子どもは自発的に自由に楽しむことを目的としながら、仲間とともに遊んでいる。遊びは日常的でありながらも非日常的な要素を含み、自分たちで面白くするためにあるルールをつくり、それにそった動きをする。晴天のときは戸外で体を自ら積極的に動かし、仲間と群れる傾向が見られる。遊びは楽しさを土台として行なう自発的な自由活動であり、これは人間の欲求や願いを満たすものである。仲間と一緒にやりたい、何か新しいことをやってみたい、おもいきり体を動かしたい、競争に勝ち障害を乗り越えたい、強くなりたいという気持ちがよく表れている。

3.4 遊び集団の大きさとそこから児童が学ぶこと

遊び集団の大きさによって、児童が学ぶことには次のような違いが見られる。



個人遊びのときは特定の児童に上記のような傾向が見られ、成育歴も関与しているようである。

3.5 遊び体験の不足がもたらす知・情・意の未成熟、未発達

児童館での遊びの様子を観察していると、遊び体験が不足したり偏ったりしてくると学びが貧弱になり、仲間意識の欠如や自信の欠如が表れ、情緒的にも不安定さが表れてくる傾向がある。遊び体験の不足はさらに知・情・意の未成熟や未発達をもたらすし、人間形成にとって重大な問題を残すといえる。古来、よく学びよく遊べといわれるが、児童にとって遊びこそは体力づくりの場であり、知的発達を促す場であり、そして豊かな情操を育む場であるといえよう。

4. 児童館に期待される新しい役割

4.1 社会状況の変化と児童館への期待

(1) これまでの児童館は、鍵っ子対策として親は児童館に子どもを置いて行き、児童館はこれを預かり怪我をさせず、悪いことをさせず、時間が来たら家に帰す。社会と関係を持つというより、囲った閉じた世界で健全育成をすれよいということであった。しかし、今日では地域社会との連携をもち、開かれた協力関係の中で児童を育成することが

求められるようになってきている。

(2)児童福祉が基本であるが、家庭においては子育てに大きな悩みと困惑があり、家族の様態も核家族化の上に更にホテル化、下宿化傾向が進行している。このため家庭はある種の困惑と闇の部分を抱えこむようになってきた。従って児童の福祉だけにとどまらず、家庭の福祉まで考えざるを得ない状況にある。子育ての放棄またはあきらめ（児童幼児虐待）に対して、地域ぐるみでの子育て支援と親の成長へ支援が欠かせなくなっている。

(3)乳幼児とその親への支援、思春期児童への支援、相談活動と情報提供の推進、自然体験活動の推進、各種の交流会の設定なども児童館の新しい役割として期待されるようになってきている。加えて児童館は第2の家庭として、家庭的雰囲気と暖かい環境の醸成が求められるようになってきている。また一人ひとりの児童を正しく理解し、意欲と成就感を持てるようにすることも大切な児童館の役割となってきた。

(4)家庭から児童館に持ちこまれる悩みや不安は様々であり、しかも深刻なものが多い。例えば次のような悩みに児童館職員は日常的に対応していくことが求められている。子どものくせや性格、健康問題、友達関係、子育てに自信がない、躰ができない、家族の協力が得られない、親子の会話や触れ合いがない、親の権威がなくて馬鹿にされる、子どもを甘やかしてしまう、子どもに干渉し過ぎる、放任してしまう、結果として児童虐待をしてしまっている、親の生活態度が悪く養育に問題がある、家族関係が暗い、金銭感覚が身につかない、夫婦関係が破壊的で粗暴であるなどである。これらの悩みや不安にどう対応するか。児童館職員の資質能力も大きく問われるようになってきている。

(5)家に帰ると両親の言い争いや喧嘩があり、怖い、見たくない。また親が地域の人々と仲が悪いので、地域に子どもの居場所がないなどの理由により児童館から自宅に帰らなければならない児童が存在する。このような親子への援助活動として、自由に集まり、自由に話し、悩みを出し合える場をつくることと、親の会を作って地域活動を促進することも児童館の新しい役割として期待されるようになってきている。

4.2 児童館活動の拡大

厚生省による児童館の設置目的は、「児童福祉法に基づく児童厚生施設であって、児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、又は情操を豊かにすること」である。つまり、遊びを通して児童の集団生活や個別指導をすることが児童館の基本機能である。しかし、上述したように今日の時代状況においては児童館には、子どもの家庭生活の支援機能、子育て支援機能、そして社会参加促進機能を果たすことが求められるようになってきている。つまり、以下に示す第1・第2の機能は今までも重視され不十分な所もありながらも実践されてきたが、時代は進展し、第3・第4・第5の機能を果たすことも児童館に求められるようになってきている。

【第1・福祉増進機能】

① 遊びを通しての育成援助（健康の増進、情操の涵養）

- ② 遊びの指導による自主性，社会性，創造性の育成
- ③ 遊びを通しての集団生活及び個別指導の充実
- ④ 施設福祉から地域福祉（施設での保護のみでなく社会参加の促進）
- ⑤ 学校の単なる延長でも教科学習の場でもなく本格的な遊びの場

【第2・健全育成機能】

- ① 身体健康増進，心の健康増進，知的適応力の向上，社会的適応力の向上，情操を豊かにする
- ② 積極的健康，創造的知力，社会的感性，自己抑制力，規範意識，順社会的行動，情報処理能力，対人関係能力，グローバル社会での国際感覚，生きる力の涵養と体験経験学習の展開
- ③ 子どもの生活環境の整備と地域での活動の展開（ボランティアを含む）

【第3・子どもの援助機能】

- ① 自主性，感性，社会性，創造性を高める活動の展開
- ② 運動遊びを核としての運動，健康の意識づけや実際の活動の展開
- ③ 児童文化活動（児童文化発信基地）の推進

【第4・子育て家庭支援機能】

- ① 子どもの家庭の福祉活動，家庭の子育ての支援
- ② 母親との相談援助支援活動（母親のもつ様々な悩みや相談ごとによる）
- ③ 子育てサロン等（少子化の中での子どもの社会性の欠如への支援など）
- ④ 乳幼児と親への支援（子どもへの対応の仕方や育て方，仕事との両立）
- ⑤ 思春期児童への支援（子どもが成長していく過程での悩みごと相談など）
- ⑥ 相談情報の提供の推進
- ⑦ 子どもの「育ち」への支援（親の成長も助けるような様々な援助活動）

【第5・地域活動促進機能】

- ① 学校家庭地域社会との協働活動への参加と展開
- ② 諸機関とネットワーク化（育成会，児童委員，学校，医療機関，行政）
- ③ 教育・保健分野と調整（不登校，いじめ問題や病気との関わり）
- ④ 地域住民の積極的参加への動機づけ（地域の大人の児童館への参入）
- ⑤ ボランティア，地域組織のネットワーク化（地域活動への参加と貢献）
- ⑥ 地域の諸活動への参加と交流（年間計画の中への諸計画の組み込み）
- ⑦ 地域の文化財，人間力等に学ぶ活動（訪問活動と児童館への講師招聘）
- ⑧ 老人を含む異年齢の者との交流活動（各種の交流活動，訪問とお世話）

5. 研究のまとめ

本研究を通して次のことが明らかになった。

- (1) 長野市の学童型児童館 35 館における過去 5 年間の利用状況は年々増加の一途をたど

っており、児童館に対する需要が高まっている。

- (2) 児童館での遊びは月平均約 80 種類ほどある。最も多く行われている遊びは一輪車、トランポリン、ブロック、折り紙、砂遊び、こま、縄跳び、サッカー、ドッジボールである。一人遊びや 2～3 人の小集団でできる遊びが多く、大集団を必要とする遊びは少なくなっている。
- (3) 遊び体験が不足すると児童は学びが貧弱になり、仲間意識の欠如・自信の欠如・情緒的不安定が表れてくる傾向がある。児童にとって遊びこそは体力づくりの場であり、知的発達を促す場であり、そして豊かな情操を育む場である。
- (4) 児童館に対する需要の高まりとともに、児童館活動には福祉増進機能・健全育成機能に加え、子どもの援助機能・子育て家庭支援機能・地域活動促進機能を果たすことが求められるようになってきている。

【参考文献】

- こどもの城体育事業部編（平成 11 年）『イラストで見るスポーツ遊び健康づくり』
こどもの城
- 小山一宏（平成 8 年）『あの子がなぜ？』全国児童館連合会
- 全国子ども協会（平成 8 年）『アウトドア工作図鑑』家の光協会
- 全国児童館連合会編（平成 6 年）『児童館と地域の児童健全育成活動』全国児童館連合会
- 全国児童館連合会編（平成 6 年）『自然は遊びでいっぱい』全国児童館連合会
- 全国児童館連合会児童館研究委員会編（平成 8 年）『児童館における子供家庭相談の理論と実際』全国児童館連合会
- 全国児童館連合会編（平成 8 年）『児童厚生員の研修の体系化』全国児童館連合会
- 全国児童館連合会編（平成 9 年）『児童厚生員ハンドブック』全国児童館連合会

(2000 年 3 月 31 日 受付)